

令和4年度事業報告

公益社団法人 にいがた被害者支援センター

項 目	事 業 内 容	
1 事業方針	犯罪等により被害を受けた被害者やその家族及び遺族に対し、支援活動員による被害者支援活動を行うとともに、県民に対する広報啓発活動を推進し、被害者支援の必要性や重要性を呼び掛け、社会全体の被害者支援意識高揚を図り、被害者支援の輪を広げる。	
2 事業内容	にいがた被害者支援センターは、上記方針に基づき、関係機関、団体等と連携を図りながら以下の活動を行った。また新潟県から性暴力被害者支援センターにいがた（以下「ワンストップ支援センター」という。）の業務委託を受け、その業務の推進を行った。 (1) 犯罪被害者等に対する電話相談及び面接相談事業…《公1事業》 (2) 犯罪被害者等への直接支援事業……………《 〃 》 (3) 犯罪被害者等自助グループへの支援事業……………《 〃 》 (4) 犯罪被害者等給付金裁定申請手続補助事業 ……《 〃 》 (5) 犯罪被害者等の支援に関する広報・啓発事業……………《公2事業》 (6) 相談員・直接支援員の育成及び研修事業……………《公3事業》	
3 各事業別計画実施状況		
事業内容		実績、場所等
(1) 犯罪被害者等に対する電話相談及び面接相談事業		毎週月～金曜日 10:00～16:00(祝日を除く。) ※ワンストップは、令和3年10月から365日24時間対応とし、当センターは祝日を除く毎週月～金曜日9:00～17:00で対応している。 新潟ユニゾンプラザ [※] ハート館
ア 電話相談	支援活動員2名体制による無料電話相談を実施するとともに、必要に応じて関係機関、団体の紹介を行った。	相談件数523 件 別紙のとおり (前年度430件) 前年比+93件 転送電話件数 長岡～6 件 上越～7 件
1144件 (+308件)	ワンストップ支援センター電話相談を平成28年12月1日に開設し、女性支援活動員が2名体制による無料電話相談を実施した。	相談件数621件 別紙のとおり (前年度406件) 前年比+215件 内 夜間・休日75件
イ 面接相談	電話相談等で面接相談が必要と判断した被害者等に対し、面接相談を実施して相談を受けるとともに、被害者に最適な専門的援助方策や解決策を共に考えるなどのサポートを行った。原則2名体制で対応	相談件数43件 別紙のとおり (前年度42件)
88件 (14件)		ワンストップ支援センター 別紙のとおり 相談件数45件 (前年度32件)
ウ メールによる相談	平成29年12月25日からメールによる相談を開設した。	相談件数40件(前年度24件) 性被害36 DV1 ストーカー1 その他2
(2) 犯罪被害者等への直接支援事業		
面接相談等で支援が必要と判断した被害者等に対し、裁判所、弁護士事務所等への付添い、及び必要により臨床心理士によるカウンセリング、産婦人科医診察等の直接的な支援を行った。		支援件数160件 別紙のとおり (前年度 90件) 裁判関連40件 弁護士相談38件、心理相談1件 (前年度 裁判関連4件 弁護士相談22件、心理相談7件) 県警からの情報提供受理件数11件(前年度8件)
		ワンストップ支援センター 支援件数60件 別紙のとおり (前年度 44件) 裁判関連0件 弁護士相談 20件、病院付添い8件、心理相談3件 産婦人科診療7人7 件
(3) 犯罪被害者等自助グループへの支援事業		5月15日、7月10日、 9月11日、11月13日、 1月29日、3月12日 (13:30～15:30) 新潟ユニゾンプラザ [※]
同じような辛い体験をした被害者同士が互いの体験を語り、感情を分かち合う自助グループの支援を行った。		参加人員12名 内訳別紙のとおり (前年度 7名、+5名)

(4) 犯罪被害者等給付金裁定申請手続補助事業	
申請者の負担軽減のため、複雑な犯罪被害者等給付金申請手続きを補助。	支援件数 0件 (前年度 0件)
(5) 犯罪被害者等の支援に関する広報・啓発事業	
ア 広報紙を発行し、支援センターの活動内容等を県民に周知広報するとともに社会全体に被害者支援の輪を広げる活動を推進した。 ・広報紙「支援センターだより」 年2回発行	・8月 No.32 6,000部発行 ・3月 No.33 6,000部発行
イ リーフレット等の広報資料の作成・配布及び各種イベント、公共交通機関、県内各市の広報紙等を利用した広報媒体等により、支援センターの相談窓口や活動内容等について広報啓発活動を行った。 ・各種イベント時における広報活動 ・県内各市町村広報紙を利用した広報	・リーフレット5,000部作成 ・イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン等における広報活動4回実施 ・新潟市
ウ ・ワンストップ支援センター関係の小冊子等収納用ケースを作成し県内高等学校に配布、設置依頼をした。 ・小学校1年から中学校3年、特別支援学校全員に性暴力被害者支援カードを作成配布し広報に努めた。(小学校低学年用、小学校高学年用、中学生用カード、高校生用カード計4種)	・当センター名入りカタログケース200個を作成 ・児童・少年対象の性暴力を教え小冊子「もしもの時の大事なお話」を朗読した読み聞かせ動画を作成しホームページ、YouTubeで公開 ・性暴力被害者支援カード 小学生向け、中学生向け、高校生向け等 4種類 合計240,500枚 作成
エ ホームページをリニューアルし、分かりやすく、必要な情報を発信するように努めた。	・ホームページ閲覧件数 トップページ 64,091件 (+1,677件) 全コンテンツ 97,654件 (+2,832件)
オ SNS(Twitter、line、Yahoo!フランドハネル)を活用した広報を推進しホームページの閲覧につなげた。	・にいがた被害者支援センターの周知 (Yahoo1回、LINE1回) ・性暴力被害者支援センターにいがたの周知 (Yahoo1回、LINE1回) ・Twitterツイート回数 12回
カ ・バス車内放送を活用した広報に努めた。 ・電車出入口脇に広報ポスターを掲示し広報に努めた。	新潟交通 上所、水島町線 JR東日本県内各路線
キ 内閣府設定「犯罪被害者週間」(11月25日～12月1日)に県民の被害者支援意識高揚のため、「犯罪被害者週間新潟大会」を開催した。 「犯罪被害者支援フォーラム2022inにいがた」の共同開催 主催:県、県警、当センター 開催日 11月5日(土) パネル展示及び被害者遺族手記集等配布	・被害者支援フォーラム 会場:新潟ユニゾンプラザ多目的ホール 講演:犯罪被害者と隣人 講師:川名壮志 警察音楽隊の合同演奏、パネルディスカッション 参加人員 170名 ・新潟県犯罪被害者支援条例に基づき11月を被害者支援を考える月間と定め同月間中に県内市長村において縦断パネル展実施 (新潟市、胎内市、関川村、湯沢町、柏崎市)
ク 関係機関団体と連携し、当センターの活動内容等をパネル展示を実施し広報に努めた。	・パープルライトアップ作戦 新潟県女性財団主催の女性に対する暴力をなくす運動週間に合わせ協力団体として11月15日から同月18日までの間ユニゾンプラザにおいてパープルライトアップしたパネル展実施
ケ マスメディアを利用してセンターの広報に努めた。	・被害者支援センター 新潟日報広告掲載 2回 ・ワンストップ支援センター 新潟日報広告掲載2回 ・NHKラジオ 年間ランダムに広報
(6) 相談員・直接支援員の育成及び研修事業	
ア 被害者支援に関わる分野の講師を招いて、継続研修及び直接支援研修を実施し、支援活動員の質的向上を図った。	・継続研修 毎月1回 年12回実施 延べ250名受講 ・直接支援研修 6回実施 延104人受講 新潟ユニゾンプラザ

	イ・全国水準の支援活動を行える支援活動員を育成するため、全国被害者支援ネットワーク主催の各種研修会に参加した。 国及び民間団体の研修参加 ・内閣府～性暴力等被害者支援のためのオンライン研修参加	・10月14日～10月16日 全国フォーラム2人・秋期全国研修会3人 オンライン延べ11人参加 ・8月27. 28日 質の向上研修上半期研修会3人参加 R5年1月28. 29日 質の向上研修下半期研修3人参加 関東甲信越ブロック山梨県で開催 ・通年実施 12人参加 ・3月6人オンライン研修参加
4	その他	
(1) 他機関等との連携等		
	ア 全国ネットワーク、他県センターとの連携	・4月19日全国事務局長会議（オンライン開催） ・8月9日 全国理事長会議（オンライン開催） ・10月7日関東甲信越ブロック事務局長会議(山梨県)（オンライン開催） ・R5年2月4日性暴力ワンストップ支援センター関東近郊連絡会(オンライン開催)
	イ 弁護士会との意見交換会 ・県弁護士会、被害者支援室、法テラス意見交換会開催	・12月6日 17名出席 ユニゾンプラザにてオンライン開催
	ウ 県臨床心理士会との意見交換会の開催	・12月17日 20名出席 新潟ユニゾンプラザ
	エ 県産婦人科医会との連携	・性犯罪被害者の医療機関受診1人延べ2回 ・協力医療機関リストを協力医療機関及び各種広報活動時に配布し連携に努めた。
	オ 新潟県被害者支援連絡協議会	・11月17日 定期総会～理事長参加 (9月22日、性犯罪専門部会 事務・支援局長参加)
	カ 新潟県配偶者暴力防止連絡協議会	・2月10日 支援局次長参加
	キ 新潟市DV相談窓口調整会議	・11月7日 支援局次長参加
	ク 県警察職員研修講演	・10月4日被害者支援専科教養
	ケ・犯罪被害者等支援関係講演	・6月10日 魚沼市安全運転管理者部会事業主研修会 ・7月14日 保護司指導力強化研修会 ・8月22日 浄土宗北陸地区教化高等講習会 ・10月25日 県警交通事故事件捜査専科教養 ・11月7日 国土交通省公共交通事故被害者支援フォーラム ・2月17日 南浜病院犯罪被害者対応研修会 ・3月2日 新潟市犯罪被害者等支援研修会
	コ 市町村犯罪被害者等支援条例制定に向けた取り組み	・県、県警、当センターの共同による市町村特化条例担当者への研修(上・中・下越地区各会場)実施
	サ 新潟県精神科病院協会との犯罪被害者支援に関する協定締結	・11月1日、県内精神科病院協会と犯罪被害者支援に関して協定を締結した。(協力医療機関42)
	シ 犯罪被害者等支援功労知事表彰	・11月5日、犯罪被害者支援フォーラム2022inにいがた会場において、当センター川上耕理事が新潟県知事表彰受賞
	(2) 管理運営等	
	ア 会員及び賛助会員の状況	・3月末現在正会員数 4年度個人67人 団体8団体、前年度個人64人団体8団体 ・3月末賛助会員数 本年度 個人917人 団体222団体 (個人・警察782人、団体・警察150人) 前年度 個人967人 団体226団体 (個人・警察813人、団体・警察137人)

イ 被害者支援自動販売機設置状況及び寄付受入状況	・受取寄付金額23,691,634円(前年度13,047,465円) ・うち寄付金付自動販売機寄付 7,083,321円(前年比+574,143円) 3月末現在設置台数163台 前年度137台 民間76台、県警64台、行政23台 ・うち多額寄付15,000,000円(10,000,000円は特定資産とした)
ウ イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンによる寄付	・5月10日、10月25日に受領 寄付金総額 42,200円(前年比+2,900円)
エ ホンデリングによる寄付	・13件(前年比-3件) 寄付金額 25,664円(前年比-27,261円)
オ 社員総会、理事会	・4月25日 第1回定時理事会 令和3年度事業報告、決算報告 総会に付議する事項 ・5月26日 定時社員総会 ・第1回臨時理事会 令和3年度決算報告 役員選任 ・10月25日 第2回定時理事会 職執行状況報告 ・3月23日 第2回臨時理事会 令和5年度事業計画、予算
カ 五役会議(その都度)	・理事長、専務理事、中曽根理事、支援局長、事務局 長 による運営等検討会 4月15日、5月12日、9月30日、2月20日、3月10日

令和4年度事業報告 附属明細書

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。